

1. 目的

外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、情報収集衛星を導入する(平成10年12月22日 閣議決定)

➡ 国民生活の安定・安全を確保するための情報の収集・分析に重要なツール

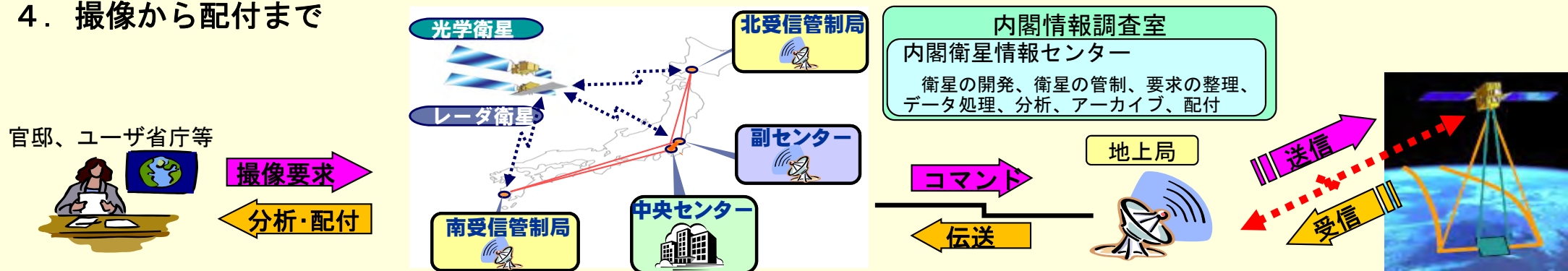
2. 構成

○光学衛星2機、レーダ衛星2機の計4機体制で、地球上の特定地点を、光学衛星、レーダ衛星各々1日1回以上撮像することを当面の目標とする。

3. 特徴

- 光学衛星：地表からの光を検出し、一般の写真に似た画像を取得。夜間や悪天候時には撮像不可。
- レーダ衛星：電磁波を放射し、反射を捕捉して、レーダ画像を取得。夜間や悪天候時の撮像も可能。

4. 撮像から配付まで



5. 情報収集衛星の活用

- 情報収集衛星によって得られた情報等に基づいて作成した成果物は、必要な判読・分析を行った上で、適時適切に官邸及び利用省庁に配付されているところであり、各省庁において所掌業務の遂行に活用されている。
- また、大規模災害への対応のため、情報収集衛星等の情報をもとに、内閣情報調査室において被災状況推定地図を作成し、関係省庁に幅広く配布。更なる活用と周知を図るため、速やかにホームページ等を通じて広く公開する予定。

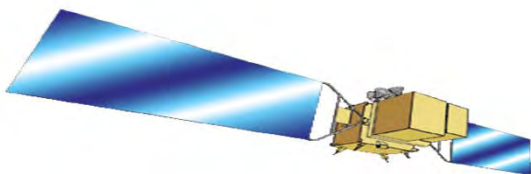
情報収集衛星の開発・運用事業費

平成25年度政府予算案 60,842百万円
(平成24年度予算額63,002百万円)

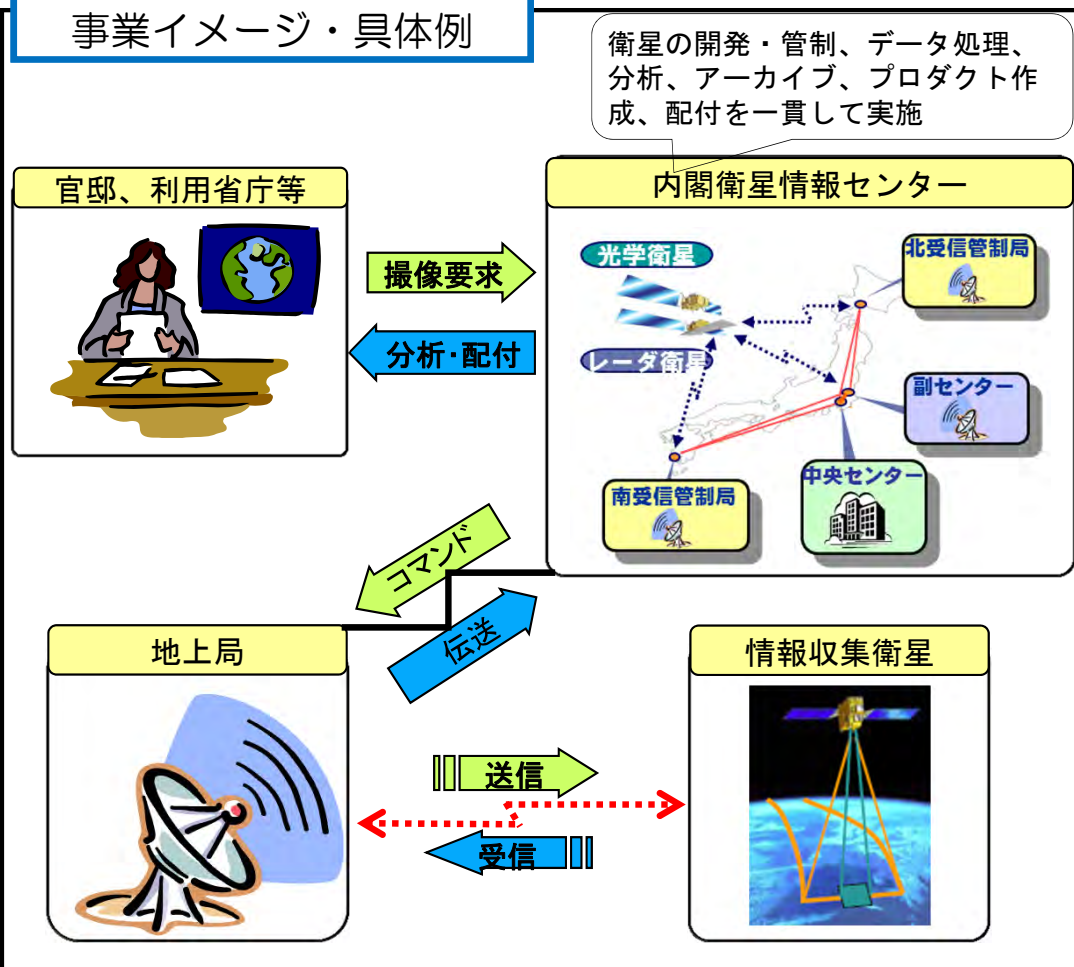
(参考)

事業概要・目的

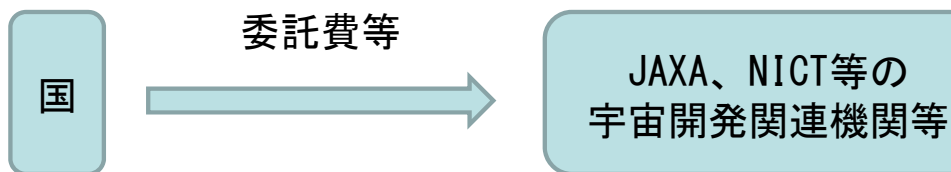
- 外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的とした情報収集衛星の開発・運用を行います。
- 確実な情報収集のため、当初の目標である特定地点を1日1回以上撮像するために必要な光学衛星2機、レーダ衛星2機の4機体制を維持するとともに、必要な情報収集衛星の機能の拡充・強化を図ります。
- 4機体制を確実に維持するため、平成25年度より光学7号機の研究開発に着手します。



事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- 情報収集衛星の4機体制を確実に維持することで、外交・防衛等の安全保障及び危機管理に必要な情報の収集を確実にを行い、安心・安全社会の実現に貢献します。